

看護部パス委員会教育活動

住友別子病院
臨床パス委員会
看護師
小根国 ユカリ

活動目的

1. クリニカルパスの知識を高め
正しいパスの活用を推進する
2. パス評価の意識を向上させる
3. パスの見直し作成を行い
業務の効率化を図る

取り組み

1. クリニカルパスの知識を高め
正しいパスの活用を推進する
 - 1) スタッフへクリニカルパスの
正しい評価方法の教育
 - 2) 新人看護師への
クリニカルパスの基本編、応用編の指導
2. パス評価の意識を向上させる
 - 1) 毎月パス監査の実施
 - 2) パスの未評価の修正実施
3. パスを見直し、業務の効率化を図る

1-1) スタッフへクリニカルパスの 正しい評価方法の教育

- ①パス委員へWeb動画の配信方法について説明
- ②Web動画視聴前の部署別理解度調査 1回目
- ③各部署でクリニカルパス評価のWeb動画を視聴
- ④Webアンケート調査結果による弱点個所の強化
 - ・アウトカム評価画面の起動方法について
 - ・アウトカム評価の具体例について（逸脱）
 - ・アウトカム評価の具体例について（変動）
 - ・アウトカム評価の具体例について（脱落）
- ⑤部署別理解度調査 2回目

1-2) 新人看護師へのクリニカルパス 基本編、応用編を指導

- ①新人看護師への教育方法を委員へ伝達
- ②理解度アンケート調査①を実施
- ③各部署委員から新人看護師へ
「クリニカルパスの基本編」の講習実施
- ④基本編終了後「クリニカルパスの応用編」の講習実施
- ⑤理解度アンケート調査②を実施
- ⑥個別でeラーニング実施
- ⑦委員中心に各部署でOJT展開
- ⑧理解度アンケート調査③を実施

2. パス評価の意識を向上させる

2-1) 毎月パス監査の実施

(月担当パス委員)

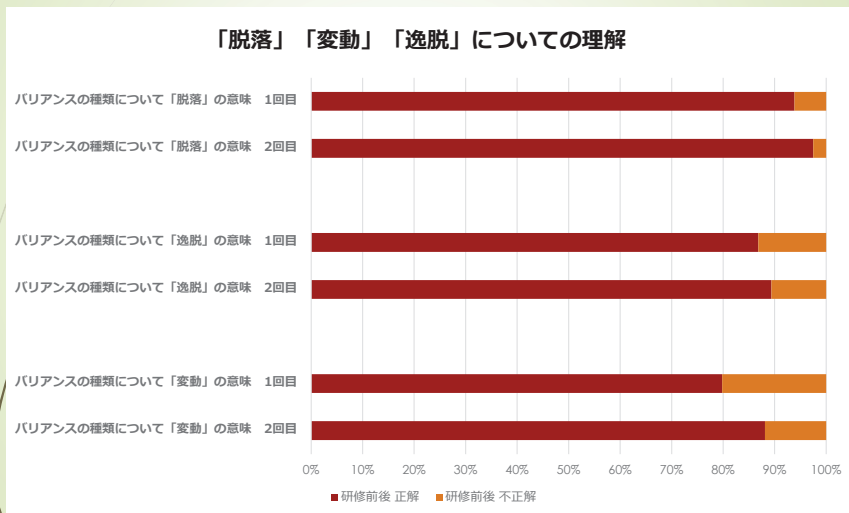
- ①パス委員会ホルダーの未評価・未終了内容一覧を確認し各部署のパス委員へ未評価指導するようフィードバックする

2-2) パスの未評価の修正実施

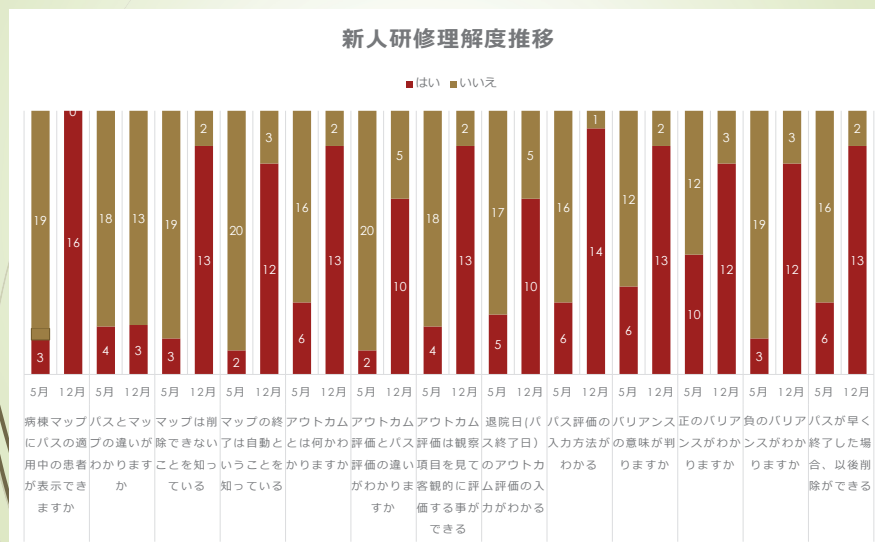
(部署パス委員)

- ①未評価・未終了一覧表を確認し未評価・未終了日の受け持ちスタッフに未実施の具体的項目を説明し評価実施を指導する
- ②未評価件数と未評価のスタッフ件数を数値化し集計し周知する
- ③毎月パス委員会や看護部連絡会議で未評価件数や未評価スタッフ件数を報告しスタッフへ不備な項目について再指導する

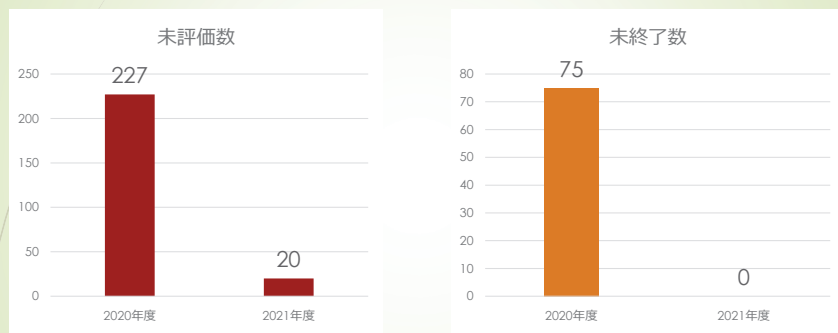
Web研修後の理解度調査結果



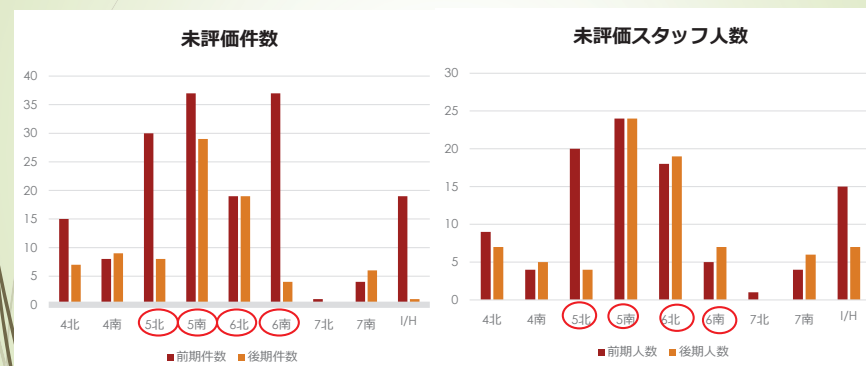
新人看護師へのクリニカルパスの基本編、 応用編の指導結果



2020年度～2021年度未終了数・未評価数の推移



部署別パス未評価件数と未評価スタッフ人数



未評価率
前期7.7%後期3.9%

スタッフ 未評価率
前期4.5%後期3%

部署の弱点強化内容

- 5北:** 同一スタッフの不備や理解度調査で理解度の低い項目の強化
⇒未実施スタッフの評価の操作を確認し個別指導とミニレクチャー・スタッフへの声掛けの実施
- 5南:** 長期のパスの日々の評価（複数）で、すべての項目のアウトカム評価が出来ていない。OP前後の未評価が出来ていない
⇒パスの不備に関しては個人指導を継続し、OP前後の評価実施を強化
- 6北:** パスが短縮した際の以降削除やアウトカム評価でのチェックもれ
⇒個別指導を実施とともに、病棟スタッフへの現状の周知を行い注意喚起する
- 6南:** 新人、途中入社スタッフのバリエーション評価の不備
⇒評価の具体例を挙げて、ミニ勉強会を実施するとともに個別指導を実施

まとめ

- 1) Web視聴を取り入れた研修は、コロナ感染等状況に左右されることなく研修者自身が可能なタイミングで研修を受けられるため、研修参加率が上昇し、効果が得られた
- 2) 新人看護師に対する段階的な指導は、知識の向上に対し成果があった
- 3) 毎月、未評価、未終了、未評価スタッフ数の調査を行い、部署へフィードバックすることが、未評価件数、未終了件数の減少につながった
- 4) 部署別に弱点項目の強化を行うことで全体では未評価は減少したが、部署間で差があった